



平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年3月14日

上場会社名 株式会社 オービス
 コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月16日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 084-934-2621

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の業績(平成28年11月1日～平成29年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	1,693	—	△9	—	△17	—	△14	—
28年10月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	△8.14	—
28年10月期第1四半期	—	—

当社は、平成28年10月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成28年10月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成28年10月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。なお、個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料7ページ「4. 補足情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第1四半期	10,665	2,266	21.3	1,309.25
28年10月期	10,058	2,300	22.9	1,328.83

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 2,266百万円 28年10月期 2,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年10月期	—				
29年10月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,156	—	127	—	96	—	86	—	49.90
通期	8,281	△7.5	310	△46.4	245	△55.2	219	△58.1	126.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年10月期第2四半期(累計)において四半期連結財務諸表を作成していたため、平成29年10月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年10月期1Q	1,732,000 株	28年10月期	1,732,000 株
② 期末自己株式数	29年10月期1Q	946 株	28年10月期	946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年10月期1Q	1,731,054 株	28年10月期1Q	1,731,102 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は平成28年5月1日付で、連結子会社であった株式会社パルを吸収合併いたしました。

これにより、平成28年10月期第3四半期累計期間より従来連結で行っておりました決算を単体決算に変更したことにより、当第1四半期累計期間は、四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っていません。

当第1四半期累計期間(平成28年11月1日～平成29年1月31日)のわが国経済は、政府・日銀による財政・金融等の積極的な経済政策を背景に雇用・所得環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移しているものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国の景気下振れ懸念に加え、トランプ政権誕生に伴う米国経済政策の急速な保守化懸念等と相まって、為替動向を含めた経済全般に先行き不透明感が増しております。

このような環境のもと、当社は、継続かつ安定的な事業の拡大を通して企業価値を向上させると共に、お客様に提供するサービスや製品について、高い品質レベルを一貫して保つことで、お客様満足度の向上による収益の確保に取り組んでまいりました。

木材事業におきましては、梱包市場全体の需要が引き続き低迷を続ける中、安価な国産杉丸太を原材料とした国内輸送用パレット用材の生産比率を高めるなど、納期短縮による競争力の強化を図ったことに加え、これまで低調な荷動きを続けてきた主力の機械・鉄鋼等を中心とした輸出用梱包用材にも一部回復の兆しがみられるなど、受注・生産ともに前年同期を大幅に上回る水準で推移いたしました。

このような環境のもと、新工場の建設工事に着手し、生産効率の大幅な改善等に向けた施策を着実に推進してまいりました。

しかしながら、ニュージーランド産丸太の現地価格は、同国のクリスマス休暇後に丸太生産量が一時的に落ち込んだうえ、最大消費国の中国需要が底堅いことから航海毎に上昇し、11月から12月にかけての急激な為替円安の影響と相まって、大幅に上昇いたしました。また、競合樹種である安価なチリ産製品の影響もあり、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁に遅れがみられるなど、利益面では厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は12億38百万円、営業利益は54百万円となりました。

ハウス・エコ事業におきましては、公共投資は年度予算の前倒しなどにより底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善等を背景に好調を維持するなど、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のもと、売電価格の低下による太陽光発電設備関連工事の減少や建設業界における受注競争が激化する中、受注環境を注視しつつ、採算性とボリュームのバランスを見極めた営業活動を推進してまいりました。

また、売電目的の太陽光発電所は当第1四半期において約1.6メガワットが新たに稼働を開始し、合計で約10メガワットが順調に稼働しております。

その結果、前年同期に大型物件の完工があった反動減に加え、第2四半期以降に完工を迎える物件が多いことから売上高は3億38百万円、営業損失は26百万円となりました。

ライフクリエイト事業におきましては、個人消費が緩やかに持ち直してきたものの、消費者マインドに足踏みが見られ、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、ゴルフ場部門におきましては、高品質で効率的なコースメンテナンスを実現するための作業機械の導入や最新のGPSナビゲーションシステムの導入を決定するなど、積極的な設備投資により新たな事業基盤を構築すると共に、他コースとの差別化を図ってまいりました。

フィットネス部門におきましては、女性向けのインドアサイクルや体組成計を導入すると共に、施設見学会・イベントの開催等によって入会者の獲得に注力してまいりました。

その結果、売上高は93百万円、営業損失は6百万円となりました。

不動産事業の賃貸物件(4棟)におきましては、8割を超える安定した稼働率を確保いたしました。

その結果、売上高は23百万円、営業利益は15百万円となりました。

上記の結果、売上高は16億93百万円、営業損失は9百万円、経常損失は17百万円、四半期純損失は14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して6億6百万円増加し106億65百万円となりました。その主な要因は未成工事支出金が2億31百万円、その他が4億75百万円、機械装置及び運搬具が2億80百万円それぞれ増加し、現金及び預金が4億59百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して6億40百万円増加し83億98百万円となりました。その主な要因は短期借入金が8億50百万円増加し、長期借入金が2億53百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して33百万円減少し22億66百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が40百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の業績予想につきましては、平成28年12月14日の「平成28年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表した業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,224	436,403
受取手形及び売掛金	1,336,601	1,285,714
電子記録債権	9,073	13,469
完成工事未収入金	1,078,799	1,033,782
リース未収入金	598,586	534,572
商品及び製品	87,551	88,019
販売用不動産	12,231	12,231
仕掛品	29,303	75,308
未成工事支出金	21,631	252,934
原材料及び貯蔵品	272,436	333,753
その他	151,541	627,118
貸倒引当金	△848	△798
流動資産合計	4,493,132	4,692,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	497,549	492,255
機械装置及び運搬具(純額)	1,457,139	1,737,263
土地	3,137,726	3,137,726
その他(純額)	272,648	395,056
有形固定資産合計	5,365,064	5,762,301
無形固定資産	48,414	51,336
投資その他の資産		
投資有価証券	107,683	114,602
その他	47,753	47,526
貸倒引当金	△3,300	△3,272
投資その他の資産合計	152,136	158,857
固定資産合計	5,565,614	5,972,495
資産合計	10,058,747	10,665,005

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	413,421	405,189
工事未払金	204,860	341,229
短期借入金	1,250,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,031,107	1,025,158
未払法人税等	66,071	5,257
賞与引当金	71,529	27,804
完成工事補償引当金	5,554	3,205
その他	932,999	961,787
流動負債合計	3,975,543	4,869,631
固定負債		
長期借入金	3,419,243	3,165,667
退職給付引当金	131,745	133,840
役員退職慰労引当金	51,627	50,726
資産除去債務	11,667	11,712
その他	168,642	167,050
固定負債合計	3,782,925	3,528,996
負債合計	7,758,469	8,398,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	1,076,884	1,036,826
自己株式	△830	△830
株主資本合計	2,274,013	2,233,956
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,383	32,293
繰延ヘッジ損益	881	127
評価・換算差額等合計	26,264	32,420
純資産合計	2,300,277	2,266,377
負債純資産合計	10,058,747	10,665,005

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	1,693,359
売上原価	1,407,850
売上総利益	285,508
販売費及び一般管理費	294,887
営業損失(△)	△9,378
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	913
仕入割引	201
受取保険金	6,196
受取賃貸料	1,200
その他	3,374
営業外収益合計	11,895
営業外費用	
支払利息	11,403
火災損失	4,100
その他	4,491
営業外費用合計	19,994
経常損失(△)	△17,477
特別利益	
固定資産売却益	34
投資有価証券売却益	7,800
役員退職慰労引当金戻入額	2,505
特別利益合計	10,340
税引前四半期純損失(△)	△7,137
法人税、住民税及び事業税	3,189
法人税等調整額	3,765
法人税等合計	6,954
四半期純損失(△)	△14,091

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第1四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	ライフ クリエイト事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	1,238,007	338,676	93,082	23,593	1,693,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,238,007	338,676	93,082	23,593	1,693,359
セグメント利益又は損失(△)	54,924	△26,323	△6,493	15,455	37,563

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	37,563
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△46,942
四半期損益計算書の営業損失(△)	△9,378

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	1,693	△24.2	△9	—	△17	—	△14	—
28年10月期第1四半期	2,233	57.2	195	272.7	189	278.7	148	392.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	△8.14	—
28年10月期第1四半期	85.97	—